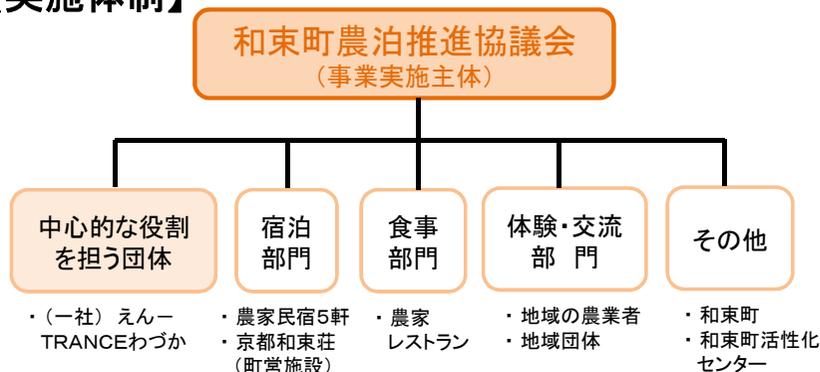


- 訪日外国人の緑茶ブームなど和東町の観光入込客は増加しつつあるが、町内での農家民宿の取組は平成27年に始まったばかりで、日帰り型の観光が中心となっている。
- 日本遺産にも認定された和東町の茶畑の景観も活かしつつ、宿泊体験型への転換を図るため、農泊ポータルサイトの開設・運用等による積極的なPR、新たな農家民宿開業への支援などに取り組む。

京都府和東町



【実施体制】



【採択年度】
平成29年度

【事業実施期間】
平成29～30年度

【特徴的な取組】

- 従前が一番茶、二番茶、秋番茶の茶業のトップシーズンの日帰り客に特化した体験プログラムから、周年を通じて本地域ならではの体験ができるプログラムを開発するため、モニターツアーを実施しニーズの把握とプログラムの満足度等を検証。



女子大生によるモニターツアー

【取組内容】

- 大都市部の大学との連携による若者の感性を活かした地域の宝の掘り起こしや宿泊・体験プログラムの開発。
- 茶畑や史跡・旧跡・名称などの見所めぐり、山歩きの自然散策、茶摘み、荒茶づくり、美味しいお茶の淹れ方などの茶作法、利き茶、茶葉を使った料理作りなどの茶文化体験ツアーを実施。
- 都市部における体験ツアー及び農泊施設のPR活動。
- 農泊ポータルサイトの開設によるPR活動。



和東町における農泊の取組



拠点施設「和東茶カフェ」



和東の茶畑

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約